

授業計画（シラバス）

■科 目		歯科予防処置Ⅲ		■講師名		長谷川 憲子	
I 部 2 学年		通年 4 5 コマ (1 コマ 90 分授業)		総時間 60 時間		実習 4 単位	
<p>■学修概要</p> <p>口腔疾患の一つであるう蝕を予防し、歯と口腔の健康を維持・増進させるためにう蝕の原因を理解し、う蝕予防法の基本的な知識・技術を習得し、う蝕予防プログラムの実践ができるようにする。そして学んだ知識を基に相互実習と顎模型上で演習しその技術を習得する。</p>							
<p>■授業目的、到達目標</p> <p>う蝕予防に必要な知識を学び、各種予防技術を修得する。また、う蝕活動性試験の種類・方法を理解し得られた結果を有効に活用できる能力を習得する。</p>							
<p>■授業方法</p> <p>講義・実習</p>							
<p>■教科書（書籍名・出版社）</p> <p>最新歯科衛生士教本／歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 医歯薬出版</p>							
<p>■成績評価・講義上の注意</p> <p>中間・定期試験、小テスト、授業・実習態度、レポート内容、出席状況により総合的に評価する。</p>							
<p>■実務経験</p> <p>歯科医院でう蝕活動性試験を用いた予防歯科に長くたずさわって、患者さんの口腔内の健康維持・増進努めている。今までの実務経験に基づいた知識を授業で提供していきたい。</p>							
■授業計画（講義の流れ）							
1	歯科予防処置の知識						
2	超音波スケーラー基礎実習 1						
3							
4	超音波スケーラー基礎実習 2						
5							
6	超音波スケーラー相互実習 1						
7							
8	超音波スケーラー相互実習 2						
9							
10	口腔内診査相互実習 1						
11							
12	口腔内診査相互実習 2						
13							
14	う蝕の原因とう蝕予防処置						
15							
16	フッ素の基礎知識						
17							
18	フッ化物歯面塗布法						
19							

授業計画（シラバス）

■授業計画（講義の流れ）	
20	綿球中のフッ化物量の確認実習とフッ素濃度計算
21	
22	フッ化物歯面塗布法(トレー法)実習
23	
24	フッ化物洗口法
25	
26	フッ化ジアンミン銀塗布法
27	
28	小窩裂溝填塞法実習
29	
30	定期試験、解答解説